

[illegible]

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード	開設場所	許可病床数
診療所	なりしげ循環器内科	3510312915/	山口県山口市矢原 1181番地3	なし

- 注）1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
 3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
なし		

- 注）地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和6年12月7日 令和5年度決算の決定

令和7年10月5日 令和7年度の事業計画及び収支予算の決定

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債
なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債
なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設
なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容
なし

(9) その他
なし

様式 2

法人名 医療法人 なりしげ循環器内科 ※医療法人整理番号

--	--	--	--	--

所在地 山口県山口市矢原1181番地3

財 産 目 録
(令和7年10月31日現在)

1. 資 産 額	81,254 千円 /
2. 負 債 額	12,366 千円 /
3. 純 資 産 額	68,888 千円 /

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		63,865
B 固 定 資 産		17,389
C 資 産 合 計 (A + B)		81,254
D 負 債 合 計		12,366
E 純 資 産 (C - D)		68,888

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土 地	(□ 法人所有	<input checked="" type="checkbox"/> 賃借	□ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有	<input checked="" type="checkbox"/> 賃借	□ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人 なりしげ循環器内科

※医療法人整理番号

所在地 山口県山口市矢原1181番地3

貸 借 対 照 表
(令和 7年 10 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	63,865	I 流 動 負 債	12,194
II 固 定 資 産	17,389	II 固 定 負 債	172
1 有 形 固 定 資 産	2,166	(うち医療機関債)	0
2 無 形 固 定 資 産	445	負 債 合 計	12,366
3 その他の資産	14,778	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	0	科 目	金 額
		I 基 金	0
		II 積 立 金	68,888
		(うち代替基金)	15,000
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	68,888
資 産 合 計	81,254	負債・純資産合計	81,254

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式4-1

法人名 医療法人 なりしげ循環器内科

※医療法人整理番号

所在地 山口県山口市矢原1181番地3

損 益 計 算 書

(自 令和 6 年 11 月 1 日 至 令和 7 年 10 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	139,436
2 事業費用	143,597
本来業務事業利益	△ 4,161
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
C 収益業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
収益業務事業利益	0
事業利益	△ 4,161
II 事業外収益	216
III 事業外費用	0
経常利益	△ 3,945
IV 特別利益	20
V 特別損失	0
税引前当期純利益	△ 3,925
法人税・住民税及び事業税	71
当期純利益	△ 3,996

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 なりしげ循環器内科
理事長 成重 隆博 殿

私（注 1）は、医療法人なりしげ循環器内科の令和 6 会計年度（令和 6 年 11 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 7 年 12 月 22 日
医療法人なりしげ循環器内科
監事 川口 道子

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第 51 条第 2 項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第 3 条に規定する重要な会計方針の記載及び第 22 条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。